

2 取り組み企業の声

ケーエム精工株式会社 専務取締役



当社には、「技能マップ」という業務チェックシートがあります。最初に職業能力評価基準を見た時、この技能マップと非常によく似た内容なので、当社で職業能力評価基準をそのまま使うことは難しいな、と感じました。しかし、様々な活用方法を検討する中で、「共通能力ユニットを切り出して、自社のチェックリストに追加する」こともできるのだと気付きました。職業能力評価基準の使い道は、技能チェックだけではないのですね。

よく、現場で部下が上司から「これじゃあかんやろう」と言われている姿を見ますが、実は、言われている本人が「何があかんのか」を分かっていないこともたくさんあるのではないのでしょうか。技能にせよ、業務態度にせよ、具体的に何ができていないのかを言葉で補って説明する必要がありますが、この職業能力評価基準を見ればお互いに理解を深めることができそうですね。

株式会社サンノハシ 技術本部 本部長

先日、とある社員の役職昇進を審議する機会がありました。役職者という重責を担う立場なので、客観的な判断が必要です。そこで、今回、職業能力評価基準のレベル3マネジャーの評価基準を使って、社員の實力評価を行いました。評価の結果、全項目が基準を満たしているということが明確になり、その後の上申もスムーズに進みました。役員会では、満場一致で役職昇進が決定するという結果になりました。

これは、職業能力評価基準が、昇進判断にも役立つツールであるということが実証されたということだと思います。

この他にも、職業能力評価基準は、当社の技能基準にも活用できると考えています。特に、当社の技能基準にはない項目や基準があるので、追加したりできないか検討していきたいですね。



株式会社サトーラシ 総務部 部長



当社の場合、既に整備された社内訓練の仕組みがあるため、職業能力評価基準を活用するには関係各所との調整が必要であり、いまずぐに導入することは難しい状況でした。導入するなら、全社の教育訓練の仕組みを丸ごと変更する、という方法も考えられますが、その場合でも、最初はテクニカルセンターの新入社員教育に使用するなど、試験的に一部分ずつ導入していくことになるのだと思います。

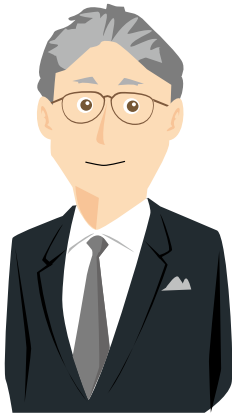
既に自社の作業基準がある企業は、既存の作業基準と混乱しないようにすることが重要です。そのためには、段階的に導入したりするなどの工夫が必要になるでしょう。

株式会社互省製作所 代表取締役社長

職業能力評価基準の特徴は、「いいとこ取り」ができるということです。自社の技能基準があれば、より人材育成に役立つ基準とするため、項目や基準の書き方を参考にすることができ、ということができます。一方で、技能基準がない企業なら、そのまま使うこともできます。

また、この職業能力評価基準は、ねじ製造技能検定と並行して検討してきたものです。技能検定は、ねじ業界に関わる者の技能を認定するための仕組みですが、業界としての検定制度と、社内で活用される職業能力評価基準という相互関係によって、業界全体としての技能向上がますます期待できるものと信じています。





金剛鋳螺株式会社 常務取締役

今回の試行導入では、当社の作業者検定を詳細化・改善するために職業能力評価基準を参考にしました。この基準は、業界の一般的な内容が幅広く記載されており、自社の技能基準を見直すにはよい資料だと思います。

今回の試行導入で改めて実感したのは、技能基準を整備したら、次に「社員教育」と「検定員教育」に力を入れなければならない、ということです。検定と教育は表裏一体の関係です。そして、正しい検定と教育をするためには、教育者の立場にある検定員が確かな知識と技能を有していることが不可欠です。まだまだ先は長いですが、今回の取り組みでよい一歩が踏み出せました。

松本ナット工業株式会社 代表取締役社長

今回の試行導入を行う前から、自社の作業標準と、それに対応した担当者用のチェックシートを整備するために、社内で行う取り組みを進めていました。具体的には、製造部長が職場の業務を洗い出し、それを一覧表にするというものです。今回、職業能力評価基準を知ったことで、業務の洗い出しに参考にすることができました。また、職業能力評価基準を見ながら、より詳細な基準でチェックシートを作成できたので、これまで課題だった「自己評価と上司評価のギャップ」が改善されました。もちろん、まだギャップはあるのですが、チェックシートを整備したいまは「この基準に照らして、具体的にはどういったことをしたのか?」と聞いたりできるので、ギャップの原因を明らかにしやすくなり、より教育効果が高い指導ができるようになると思います。



■協力企業一覧（五十音順）

企業名	所在地	正社員数	主要製品
ケーエム精工株式会社	(本社)大阪府 (工場)三重県・大阪府	115名	自動車、建築、住宅用ナット、冷間圧造パーツ、ドリルねじ、ドリリングタッピンねじ
株式会社互省製作所	(本社)神奈川県 (工場)神奈川県・福島県	188名	六角穴付きねじ類(ソケットスクリュー)各種、その他高強度締結ねじ部品
金剛鋳螺株式会社	(本社)大阪府 (工場)大阪府	68名	六角ボルト、座金組込み六角ボルト、特殊冷間圧造部品
株式会社サトーラシ	(本社)東京都 (工場)埼玉県	240名	自動車部品、輸送用機械精密機能部品
株式会社サンノハシ	(本社)埼玉県 (工場)宮城県・福島県	250名	自動車用特殊ボルト・ねじ付き部品、冷間鍛造部品・精密機械加工部品
株式会社平戸製作所	(本社)東京都 (工場)福島県	16名	ボルト・ナット及び機械加工品
松本ナット工業株式会社	(本社)大阪府 (工場)大阪府・三重県	50名	各種精密ナット、特殊ねじ、冷間圧造部品

※ 企業データは2013年2月20日現在